



城山 COM COM 通信



三春小学校学校運営協議会広報

第2号

平成28年10月14日発行

三春小学校は学校運営協議会があり、コミュニティ・スクールになっています。

コムコム

地域と学校を結ぶ
子どもたちのための応援通信です。

【発行】三春小学校運営協議会
(三春町立三春小学校内)
三春町字大町157
TEL 0247-62-3101

今年度も後半がスタートしました。今回は、テーマ協議を設定し、委員さん達から様々な立場で貴重なご意見をいただくことができました。学力向上の実践につなげていければと思います。

【運営委員会委員】

- 会長 伊藤敏幸
(学識経験者)
- 副会長 吉田将史
(学識経験者)
- 副会長 橋本玲子
(保護者代表)
- 委員 高橋龍一
(地域代表)
- 委員 降矢通英
(地域代表)
- 委員 相川義則
(地域代表)
- 委員 大河原輝男
(学識経験者)
- 委員 千葉富子
(学識経験者)
- 委員 佐藤恵美子
(学識経験者)
- 委員 橋本俊宏
(地域代表)
- 委員 國分研治
(地域代表)
- 委員 織田島浩孝
(行政関係者)
- 校長 太田文枝
- 教頭 遠藤謙一
- 教諭 関 剛男
- 教諭 後藤裕子
- 教諭 遠藤 淳
- 教諭 赤沼佳子
- 教諭 佐藤裕子

協議内容

(1) 前期学校運営について～スライドで紹介～

(2) テーマ協議「学力の実態と課題」

県ごとの全国学力テストの結果が公表されているが、本校6年生は、国語が全国・県平均値を大きく上回り、算数が下回った。生活習慣、学習意欲、教師と児童・児童同士の関係等は良好であることから、学力向上に向けたよい方策はないか、意見を交換をした。

グループ①

- ・ 秋田県の事例より。人的、財的手段が必要。
- ・ 生活の中で算数を意識した環境作りをする。
- ・ 1つのことに自信をもてれば、勉強好きになり算数にも波及していく。
- ・ 積み重ねが大事である。

グループ②

- ・ 小学生のうちから算数への抵抗をなくする必要がある。
- ・ 毎日5分間でも計算等をくり返し行い、習慣化していく。落ちているところの補充、間違いを生かす学習を行う。
- ・ 学力テストの結果を学校全体でとらえ、各学年の学習内容を責任を持って支援していく。
- ・ 自主学習について、具体的なアドバイスをする。ここを間違ったらここを復習など。

(3) 委員の方より

- ・ 他校の運営協議会ではどのような活動をしているのか？交流したい。
- ・ 先生方は、すばらしい「三春の教育」を実践し、子ども一人一人を生かして行ってほしい。
- ・ 学校、家庭、地域が一丸となって子どもの成長の応援団になっていきたい。地域住民として、体験活動の支援、心の財産作りに努めたい。
- ・ 学力向上の実現は、学校だけでは難しい。いかに親を巻き込んでいくかを考えていかなければならない。
- ・ 学力テストが全国的に競争化の傾向にある。市町村レベルでそうならないことを願う。